

経営協議会の外部委員からの意見を法人運営の改善に向け審議、活用した例

①教育の質保証（教育の質の担保）

- ・ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーの策定及び公表
- ・国際的な成績評価方法として利用されている GPA 制度（成績の評定を 5 段階に数値化し、成績を平均化）を大学院の成績評価に導入
→学部の GPA 制度についても、平成 24 年度からの導入に向けて検討を行った。

→ 外部委員より教育の質の保証について発言があった。（平成 22 年 3 月 18 日経営協議会第 6 回）

②医歯学融合教育の導入

- ・医歯学融合教育カリキュラムの早期実現（平成 23 年度から）

→ 外部委員より医歯学融合教育の実現について発言があった。（平成 22 年 3 月 18 日経営協議会第 6 回）

③教育研究組織の見直し

- ・大学院組織の見直し
→医歯学総合研究科に生命情報科学教育部を統合し、専攻を医歯学系専攻、生命理工学系専攻の 2 専攻に改組（平成 24 年 4 月）
- ・研究・産学連携推進機構の設置（平成 23 年 4 月）
（機構内の研究戦略室を中心に競争的外部資金の獲得に取り組む）

→ 外部委員より教育研究組織の見直しについて発言があった。（平成 22 年 3 月 18 日経営協議会第 6 回）

→ 外部委員より平成 23 年度の科学研究費補助金予算額の増加に伴い、大学として戦略を立てて獲得を目指して貰いたい旨の発言があった。（平成 23 年 1 月 11 日経営協議会第 3 回）

④寄附金獲得の推進

- ・東京医科歯科大学基金の創設

→ 外部委員より積極的な寄付金獲得の推進について発言があった。（平成 22 年 3 月 18 日経営協議会第 6 回など）

⑤医療の多角化

【医学部附属病院】

- ・「医療連携支援センター」の設置（平成 24 年 4 月）に向けた検討、整備
→地域医療における病診連携の取組みから医療福祉患者相談までを充実、強化
- ・「難病治療センター」の設置（平成 24 年 4 月）に向けた検討、整備
→横断的な難病のトータルケア
- ・「がん治療センター」、「外来化学療法・注射センター」の設置（平成 23 年 10 月）、
「臨床腫瘍学分野」の設置（平成 24 年 4 月）に向けた検討、整備
→がん診療体制の充実に向け、横断的に連携する診療体制の構築
- ・「新生児集中治療室（NICU）」の設置（平成 24 年 4 月）に向けた検討、整備
→東京都の周産期連携病院を目指し、医療体制を整備
- ・「スポーツ医学診療センター」の設置（平成 24 年 4 月）に向けた検討、整備
→スポーツ選手のスポーツ外傷の診断治療、早期の競技復帰などを目的とし、口腔
領域の外傷の治療、マウスピース、フェイスガードの作成等については、歯学部附
属病院との連携も検討

【歯学部附属病院】

- ・「セカンドオピニオン外来」の設置（平成 23 年 10 月）
- ・インプラント治療の診療体制の構築
→本院に対する患者の高いニーズに対応、インプラント外来だけでなく他診療科の
歯科医師も含むチームで推進

→ 外部委員より医療の多角化について発言があった。（平成 22 年 3 月 18 日経営協議会第 6 回）

⑥医学部附属病院、歯学部附属病院の連携

- ・病院運営企画部及び医病歯病連携推進室の設置（平成 23 年 11 月）
→両附属病院の財務経営戦略の立案・企画及び調整、経営状況の分析等を行うことにより、両附属病院の連携及びその効率的運営を促進する体制の構築
→病院経営コンサルタントの導入により、DPC コーディング診療報酬等の見直しを実施

→ 外部委員より医と歯の連携について発言があった。（平成 22 年 3 月 18 日経営協議会第 6 回）

⑦危機管理の強化

- ・危機管理マニュアルの見直し
- ・地震発生時非常参集要領の制定
- ・安否確認システムの導入
- ・大地震ポケットマニュアルの配付（全学生、教職員）

→ 外部委員より危機マネジメントの重要性について発言があった。（平成 22 年 3 月 18 日経営協議会第 6 回）